



広報

と き わ

第16号



発行 人と地域が輝く常盤協議会
 連絡先 草津市志那中町 111-1(常盤まちづくりセンター内)
 TEL・FAX 568-0001
 E-mail tokiwa@machikyou.jp
 ホームページ http://www.kusatsu.or.jp/machikyou/tokiwa/

常盤学区の防犯マップが出来上がります

常盤学区の防犯マップが、地域安全活動の一環として地域全戸に4月初めに配布されます。

この防犯マップは平成20年に学区青少年育成会議を中心に作成された「常盤学区内の危険・注意と思われるところ地図」を、新たに駐在所、小学校、各団体にもヒアリングしながら学区自治連合会で見直しを行ない、取りまとめた内容で、草津市危機管理課が作成するものです。

「地域の安全は地域で守る」との考え方で現在まで、スクールガード、ふれあいパトロール、夜間パトロール、あいさつ運動、清掃活動等、地域全体での防犯活動が推進されてきています。

常盤学区の危険箇所等の状況も知っていただき、子ども、女性、高齢者を初め地域全体での安全を守るために、新防犯マップを活用ください。

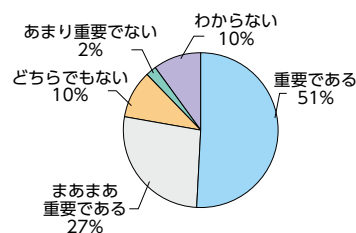
写真の防犯マップは途中段階のもので、4月に完成予定です



地域活性化講演会アンケート結果「農業振興が重要！」の考えが多数

昨年11月に常盤まちづくりセンターで開催された龍谷大学農学部教授、淡路和則さんの「地域活性化講演会」内容について

地域活性化と農業振興

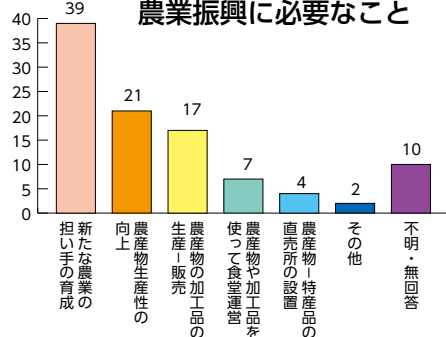


草津市が当日の参加者にアンケート調査した結果を纏められました。内容は以下の通りです。
1. 「農業振興」は常盤学区の活性化に重要

であると答えた人は、参加者の約80%でした。

2. 農業振興の為に必要なことについては、担い手の育成、生産性の向上、加工品の生産・販売、との意見が挙げられています。講演内容全体については、参加者の75%が良かったと評価されています。

農業振興に必要なこと



常盤まちづくりセンターご利用のみなさまからのアンケート結果

平成30年4月に常盤まちづくりセンターが新設、8月に駐車場も利用開始となり半年たち、センター利用の方々に「施設の運営」についてアンケートでご意見を聞きました。1か月間で137人の方からアンケートが集まりました。質問内容の内、開館・貸館時間、会議室の広さ・使いやすさ・利用時の備品については98%から99%の方に満足～普通との回答がありました。また、事務受付時間、休館日、貸館利用手続き、については『やや不満』との回答も5～6人の方からありました。御協力ありがとうございました。さらに使いやすいセンター運営づくりのために参考にさせていただきます。

質問内容

- ・開館時間(8時30分～17時15分まで)
- ・休館日(日曜・祝日。年末年始)
- ・貸館時間(9時～21時まで)
- ・貸館の利用区分(午前、午後、夜間)
- ・貸館の利用料金について
- ・貸館の利用手続きについて
- ・会議室等の広さ・使いやすさについて
- ・会議室等の備品について

満足・やや満足・普通・やや不満・不満の5段階での評価及び、意見や提案についてお聞きしました

第六分団、年末夜間警備実施

草津市消防団第六分団で、昨年末12月27日～30日まで、年末の夜間警備が行なわれました。

年末は一気に天候が崩れ、特に27日は夕刻から気温も下がり夜間には少し強い風と共に雪も降り始める中、消防団は地域パトロールに出発しました。出発前には、学区の各町会長も第六分団詰所に激励のために参集し、橋川市長も夜中に分団詰所に激励来所されました。

また年初の1月6日(日)草津市役所で行われた「消防出初式」においても、他の分団と共に第六分団も訓練参加されました。



消防団の活動とは

地域の人々で結成され、火災や災害への対応や予防啓発活動などを行っている消防組織です。

「地域を守る」という思いのもと、火災や災害時などには出動し、消防署などと協力して消火活動、避難誘導、鎮火後の残火処理等を行います。

また各町で実施される災害訓練等での訓練指導や、学区内でのパトロール活動、啓発活動も行っています。



すこやかセミナーが開催されました

2月8日(金)学区青少年育成会議主催で、常盤まちづくりセンターにて「すこやかセミナー」が開催されました。

過去に、草津市の中学校校長も歴任され現在草津市立少年センター・あすくる草津所長の中谷仁彦さんの講話に約50名が参加し「少年たちの今!」と題した話を聴講しました。

講話では、①少年の非行とその背景、②非行から立ち直るまでの途方もない努力と時間を正面から対峙、③時には体を張って少年や少女たちを見守る、④良い人間関係を作るには「挨拶をすること」の重要性、⑤立ち直る環境を作るためには地域支援の必要性等の話をされました。今、非行から立ち直る少年たちを企業の働き手として受け入れ一緒に育ててくれる賛同団体・事業所の輪が広がっています。常盤でもいくつもの企業が賛同の輪に加わっていることに感謝をされ、地域協力の大切さについて話されました。



第六分団消防団員を募集しています

第六分団では、消防団として共に活動する団員を募集しています。

第六分団では職場や世代が違う人が集っています。その中で様々な人との交流をしたいと思っている方、自分たちのまちは自分たちで守る思いを持っている方の入団をお待ちしています。

18才以上の方。男女は不問です。御希望される方は、各町の町会長にお申し出ください。

第40回常盤学区卓球大会の開催

2月10日(日)学区の卓球大会が新堂中学校の体育館で開催されました。体育振興会の本年最後の行事です。小学生も数人加わり参加者年代は様々ですが、ハンは無しと同条件での真剣勝負です。外は雪もちらつく寒さでしたが、館内では心ふれあう温かな試合がつづいていました。

結果は、優勝が津田江町。準優勝が下物町、3位決定戦は穴村町と常盤団地の対戦となり、穴村町となりました。



常盤やすらぎ学級 第5回講座 健康リズム体操

1月18日(金)学区やすらぎ学級では、今年度第5回講座「健康リズム体操」が開催されました。

約60名の方が参加し『あしこしじょうぶ脚腰丈夫で若さアップUP!』をテーマにした講座内容で、歌いながらリズムに合わせて楽しく全身を動かす体操です。声を出すことで気分もよくなり、体を動かすことで呼吸筋や声帯の老化も防ぐ体操、とのことで行われています。この講座は大阪ガスグループ福祉財団の協力で講師にリズム体操研究会、はまだゆりこ濱田百合子先生の指導で実施されました。

やすらぎ学級生の2019年度募集は4月中旬から開始します。全戸に案内チラシが配布されます。入会をお待ち致します。



町内学習懇談会総括学習会

1月18日(金)常盤学区同和教育推進協議会主催で「町内学習懇談会総括学習会」が開催されました。この会は、各町で実施された同和問題学習懇談会についての発表を聞きながら互いに学習し合う場でもあります。今回の発表町は穴村町、北大萱町、吉田町、志那町の4町でした。

また、人権センター山口兼司やまぐちけんじさんからは「開催してよかった・参加してよかったと思える学習会に!」「また開催しよう・参加しようと思える学習会にするためには?」との方向についての提案が語られました。

次に、人権講座では、徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会の中倉茂樹なかくらしげきさんを講師として迎え「無意識から意識するへ」をテーマに講話がありました。近年インターネット、SNSによる差別的な書き込みが頻発する中、その問題点や解決策について、また町内学習懇談会のマンネリ化について、今までの成果と現在の問題点、その打開策だかいさくについて示唆する話を聞かせていただきました。

差別を根絶こんぜつする地域の今後の取り組みとして、大いに参考となる機会を得た学習会となりました。



町内学習懇談会について4町から発表されました。



中倉茂樹さんの体験談を真剣に聞き入っていました。

「ふれあいカフェ」を行いました

1月26日(土)、2月20日(水)に常盤まちづくりセンター・サロン室において『ふれあいカフェ』を開催しました。常盤協議会では、地域のみなさまに、ゆっくり過ごしていただく場所をコーヒー等楽しみながら提供できたらとの意見から、まず行ってみて、ご意見を聞いてみようとのことで行いました。

いかがでしたでしょうか。今後もセンターを利用される方にくつろぎの場を提供できる企画を検討していきます。



今年もヨシ刈りが実施されました

1月19日(土)「道の駅草津」近くのヨシ群生地ぐんせいちに多くの方が参加し、ヨシ刈りが行われました。草津ヨシたしまつ松明まつり実行委員会主催による『ヨシ松明まつり(7月に開催予定)』で点火するヨシを刈り取るために毎年行っているものです。ヨシはびわ湖かんきょうほの環境保全に役立ち、冬場に刈り取ると元気なヨシがまた成長してきます。

前日の18日(金)には、常盤小学校6年生の生徒たちもヨシ刈りを行ない、続いてこの日は常盤の各町内会や草津の企業も参集し、共に汗を流しました。



寒風のなか、一面に茂ったヨシの中に全員で突き進みます



左義長まつり(長束町)

1月15日前後に常盤の多くの町で、無病息災むびょうそくさいを祈つての左義長さぎちやうが行われています。各町での形式は多少異なりますが、多くは神社の境内で3、4本の竹えんすいを円錐形えんすいに組み上げた中に、お正月で使用した各家の門松かどまつやしめ飾り、お札などを持ち寄って焼く神事です。起源は「徒然草つれづれぐさ」の書物にも見られることから鎌倉時代には行われていたらしいとされています。

長束町では、子供たちが竹を地面にたたきつけながら『たくじょう』と声を出し町内を回り歩きます。割った竹を松明の中に入れて『ポンボン』と大きな音をたて一気に燃えさかり祈りの儀式が進められていきます。小正月時期こしょうがつ、常盤の風物詩ふうぶつしです。



草津夢風車、解体

烏丸半島すいせい「水生植物公園みずの森」内の地に建ち、常盤のランドマークとして親しまれてきた夢風車が電気系統の故障と耐久年数的なことから解体されることになり、1月28日に風車の羽根が外されました。今後は支柱の一部を残した風車跡が、メモリアル場所としてのモニュメントとして残されていきます。

2001年に設置された風車は地上高60メートルの巨大な施設でした。環境啓発施設としての役割は果たしたものの、発電事業としては成立しませんでした。



1月28日、風車の塔から外された羽根が地上に横たわっていました。これから本体が取り外されていきます